

おもちゃの病院 愛川・一日見学記

おもちゃの病院愛川を一日見学してきました。

その日、始まりの午後 1 時には子ども達がまだ来ていなかったなので、ドクターの皆さまと雑談をしているうちにどんどん子ども達が大切にしている自分のおもちゃを持ってきました。

最初に持ち込まれたのは可愛い熊のぬいぐるみで、電池で笛を鳴らし、太鼓をたたきながら首を振るものでした。全く動かなくなったぬいぐるみを少しずつチェックして、ばらして診断していくのですが、小さなぬいぐるみをドクターの大きな手で丁寧に、丁寧に進める作業は見ていても大変な仕事です。電池が駄目なら、電池につながる線をチェック、それでも駄目ならとどんどんぬいぐるみはばらされて行きます。その度に子どもから驚きや、心配の声が上り、ハラハラする作業が続きます。小さなドライヤーで暖めながらぬいぐるみを剥がして行き、最後はぬいぐるみとメカの動かす部分に分解されました。メカのチェックをしてモーターが損傷して動かないという原因を突き止めるのに 1 時間以上も時間が経過していました。時間を気にしながら再度在庫にあったモーターと交換して、今までの逆に行程を間違いなくたどって修理ができたのは定刻の午後 3 時を回っていました。

修理が出来て元のように動く熊のぬいぐるみを手にした子どもは満面の笑みでドクターに「どうもありがとう」と小さく頭を下げ、お母さんとおばあちゃんに手を引かれてうれしそうに帰って行きました。(滝)

